

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第4号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年10月29日 05時50分ごろ	
発生場所	宮城県仙台市仙台塩釜港仙台区南東沖 仙台沖防波堤東灯台から真方位135°0.7海里付近 (概位 北緯38°15.3′ 東経141°04.7′)	
事故等調査の経過	平成22年1月15日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第六進和丸 ^{しんわ} 、494トン	
船舶番号、船舶所有者等	135067、洋和海運株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	制御空気系統内エアフィルター破損	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか2人が乗り組み、千葉県市川港で鉄スクラップ886トンを積載し、平成21年10月28日19時35分ごろ仙台塩竈港仙台区（以下「仙台区」という。）に仮泊した。</p> <p>本船は、翌29日05時50分ごろ、仙台港入港準備作業中、主機が始動できず、10時15分ごろ、2隻のタグボートにえい航されて、仙台港に着岸した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、視界 良好	
その他の事項	<p>本船主機の遠隔操縦装置は、空気作動式であった。</p> <p>機関点検を行ったところ、制御空気系統に設置されたエアフィルターに円周方向のき裂が発生し、制御空気が漏洩して、主機遠隔操縦装置に空気が供給されなくなっていた。</p> <p>制御空気系統のエアフィルターには、バイパスラインがなかった。</p> <p>エアフィルターは新造から約15年使用され、本船には予備品がなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、仙台区で入港準備作業中、主機の遠隔操縦装置に制御空気が供給されず、主機が始動しなかったものと考えられる。</p> <p>制御空気エアフィルターが経年劣化してき裂を生じたものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が仙台区で入港準備作業中、主機制御空気系統のエアフィルターにき裂が生じたため、主機遠隔操縦装置に制御空気が供給されず、主機が始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。	

